

# 決算説明資料

2024年度

2025年6月9日

愛媛銀行は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。





第1章

2024年度（2025年3月期）決算概要

..... P03

第2章

第18次中期経営計画の進捗

..... P15

第3章

補足情報

..... P35

第1章

# 2024年度（2025年3月期）決算概要

# 決算概要



	2023年度	2024年度	前年度比
<b>業務粗利益</b>	24,651	<b>25,556</b>	904
コア業務粗利益	27,309	<b>27,882</b>	572
資金利益	34,703	<b>34,186</b>	△ 516
役務取引等利益	△ 1,187	△ <b>1,204</b>	△ 17
その他業務利益 (除く国債等債券損益)	△ 6,206	△ <b>5,100</b>	1,106
国債等債券損益	△ 2,657	△ <b>2,325</b>	332
<b>経費</b>	20,742	<b>21,270</b>	527
<b>業務純益 (一般貸倒引当金繰入前)</b>	3,909	<b>4,286</b>	377
<b>コア業務純益</b>	6,567	<b>6,611</b>	44
コア業務純益 (除く投資信託解約損益)	6,368	<b>6,174</b>	△ 194
<b>一般貸倒引当金繰入①</b>	-	-	-
<b>業務純益</b>	3,909	<b>4,286</b>	377
<b>臨時損益</b>	3,171	<b>2,798</b>	△ 372
貸倒償却引当費用②	334	<b>934</b>	599
株式等関係損益	3,320	<b>3,416</b>	95
その他臨時損益	185	<b>316</b>	131
<b>経常利益</b>	7,080	<b>7,084</b>	4
<b>特別損益</b>	△ 817	△ <b>121</b>	695
<b>当期純利益</b>	4,509	<b>5,216</b>	707
<b>信用コスト (①+②)</b>	334	<b>934</b>	599
<b>経常収益</b>	60,558	<b>60,986</b>	428

## 【主なポイント】

### ● コア業務純益は横ばい

- ・ 資金利益は、金利上昇局面において調達コストが先行して上昇したことや外貨建て運用利回りの低下により前年度比約5億円の減益
- ・ その他業務利益は外貨調達コストの減少により改善
- ・ 経費はベースアップによる人件費増加及びシステム関連投資や物価高に伴う物件費増加により増加

### ● 当期純利益は、前年比+7億円 ～当初予想(45億円)比+7億円～

- ・ 堅調な市況を背景に株式売却益を計上した一方で、ポートフォリオ見直しによる外貨建債券の売却損を計上
- ・ 信用コストは保守的な貸倒引当金計上により前年度比増加
- ・ 昨年度に比べ店舗減損等が減少したこともあり、当初予想を超える当期純利益を計上

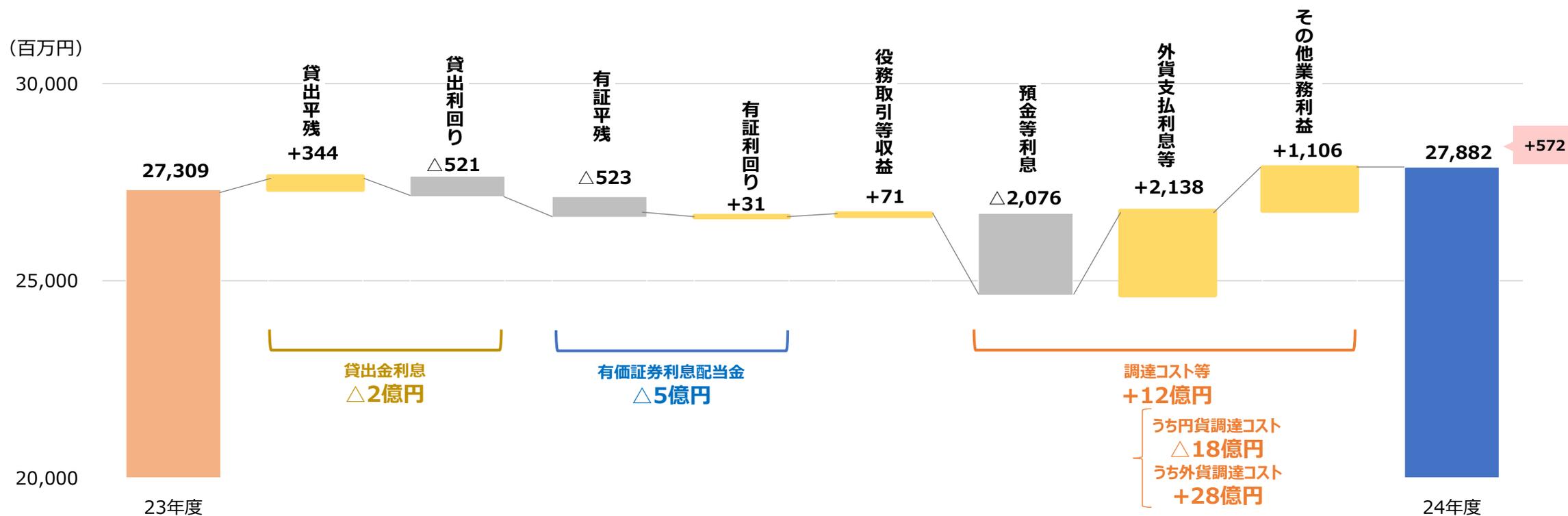
<参考：連結>

	2023年度	2024年度	前年度比
経常利益	7,909	<b>7,835</b>	△74
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,055	<b>5,715</b>	+660

\*各計数については、単位未満を切り捨てた値を記載している。以下特に注記がなければ同様。

- 海外金利低下の影響により、貸出金利息、有価証券利息配当金は減少
- 円貨調達コストの増加額を、外貨調達コストの減少額が上回り、コア業務粗利益は増益

コア業務粗利益の増減要因

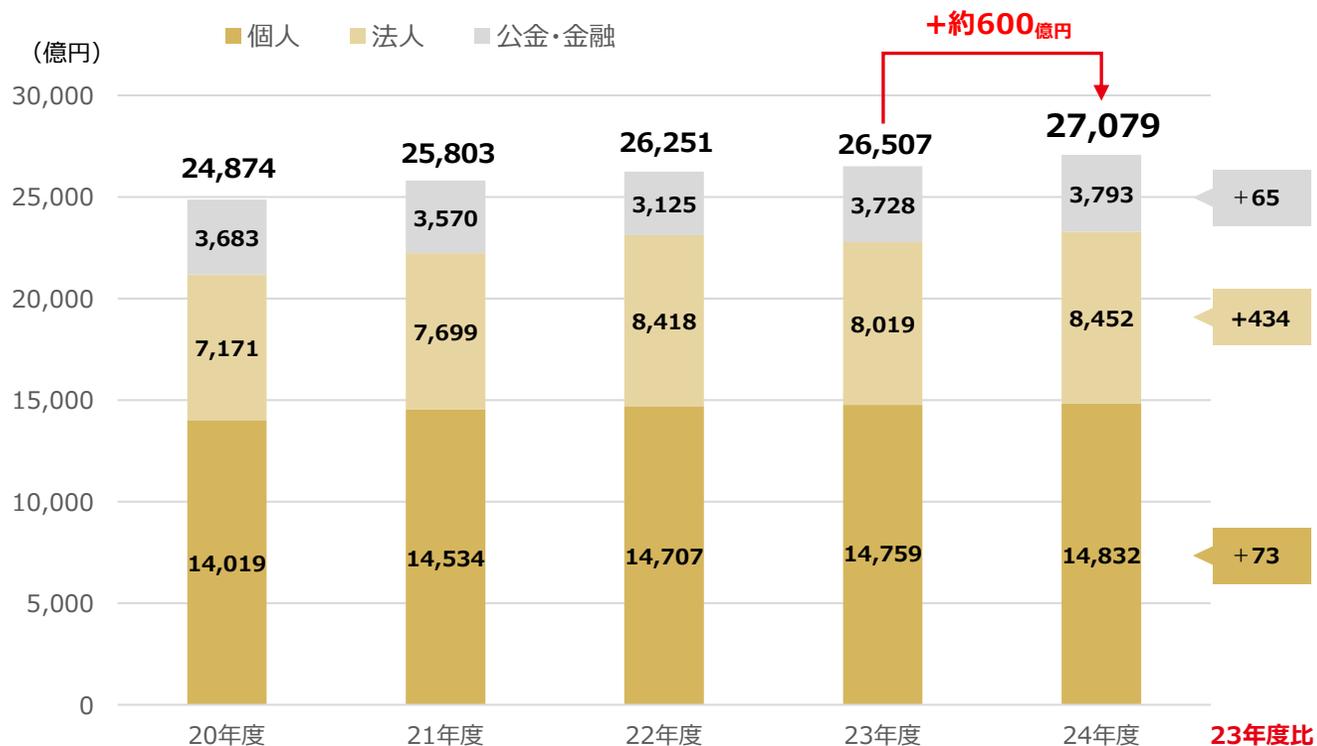


# 預金・譲渡性預金の状況

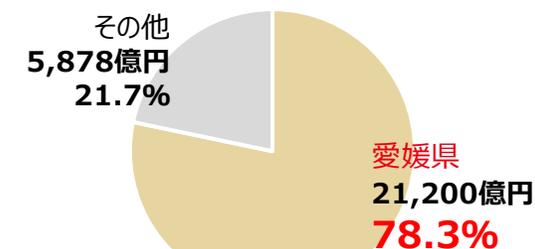


- 預金等（未残）は、法人預金を中心に増加し、前年度比+572億円の増加
- 愛媛県内の預金、営業店預金といった粘着性のある預金の増強を進める

主体別 預金・譲渡性預金（未残）の推移

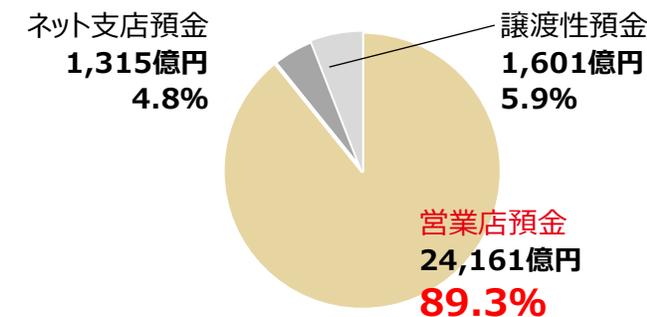


地域別 預金・譲渡性預金（未残）



※愛媛県預金にはネット支店（四国八十八カ所支店等）の預金を含む

属性別 預金・譲渡性預金（未残）

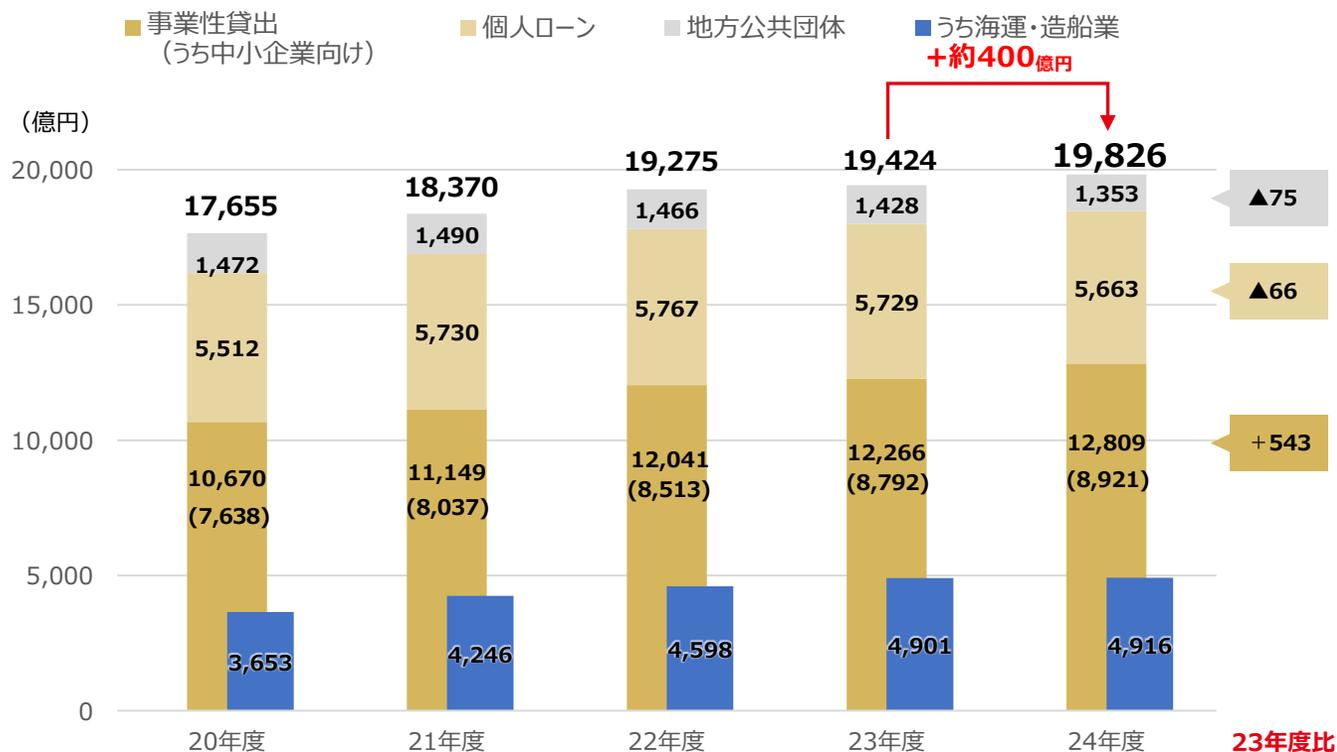


# 貸出金の状況

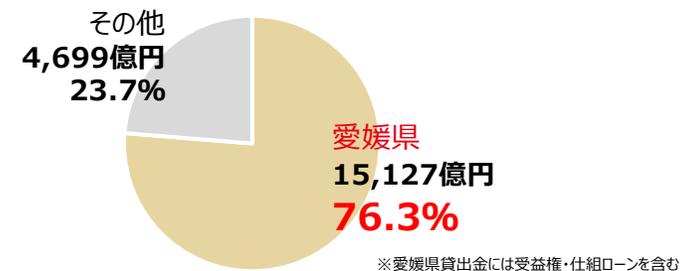


- 貸出金（未残）は、中小企業向け貸出等の事業性貸出が伸長し、前年度比+402億円の増加
- シップファイナンスをはじめ、愛媛県内の資金需要は依然として旺盛

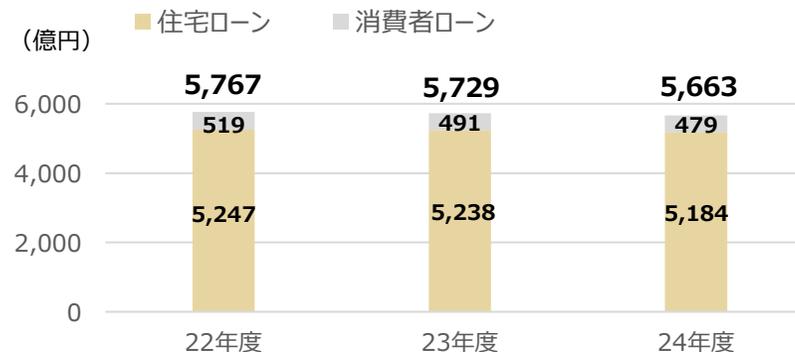
### 主体別 貸出金（未残）の推移



### 地域別 貸出金（未残）



### 個人ローン残高の推移

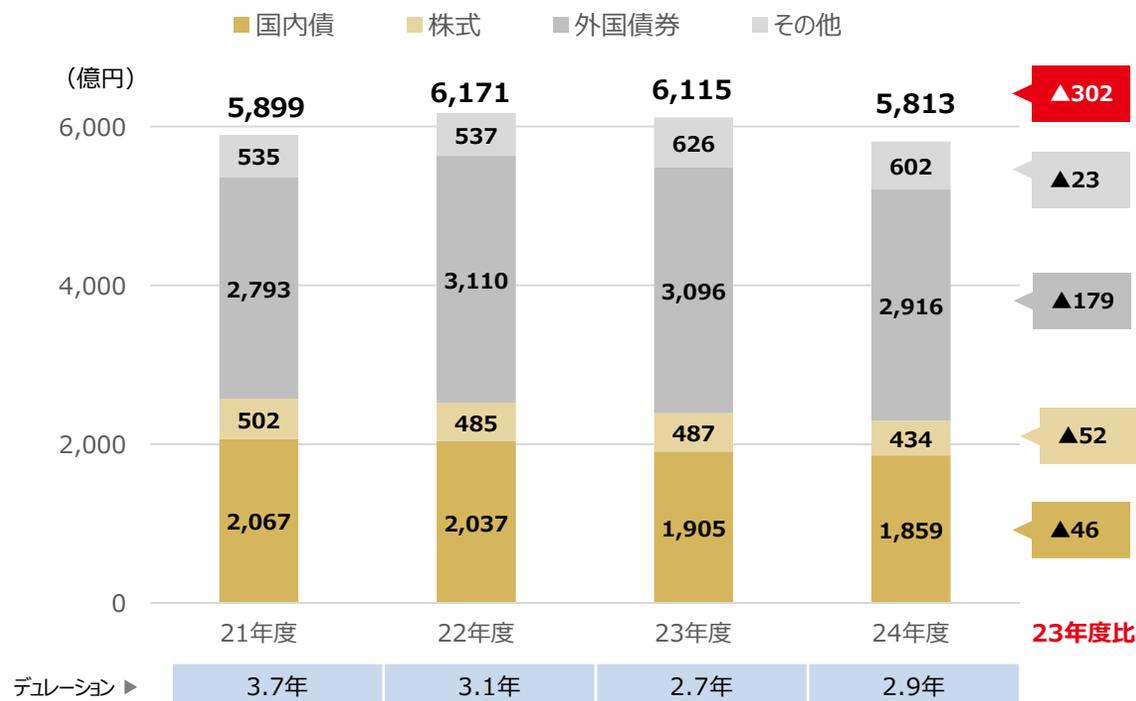


# 有価証券の状況



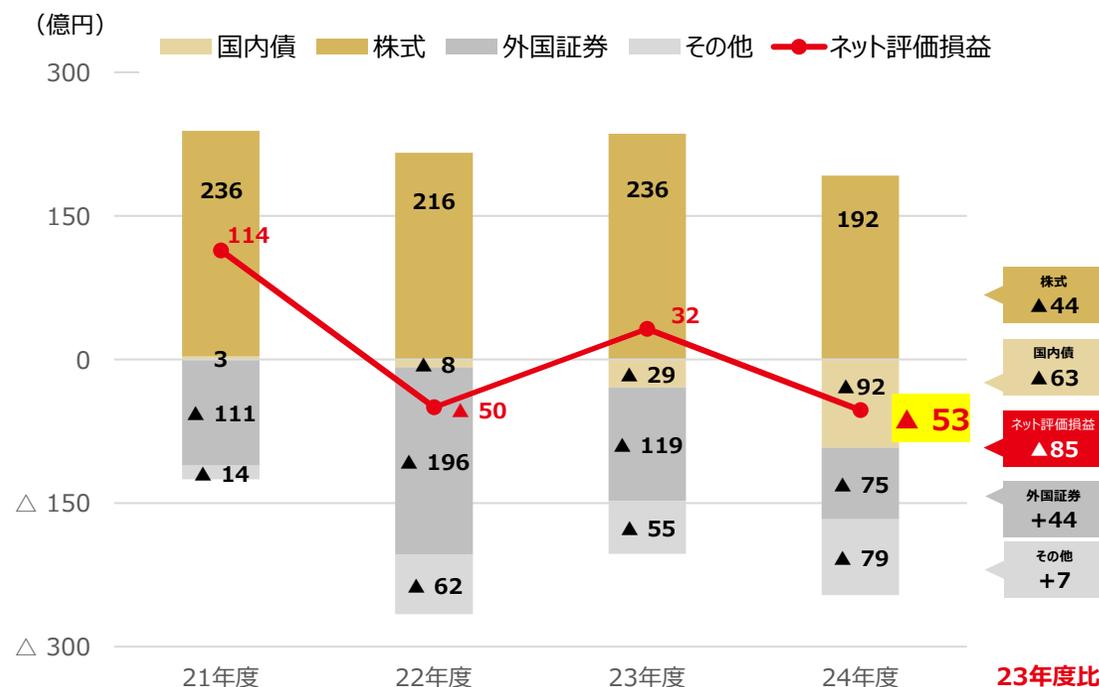
- 従前より国内外のマーケット動向を勘案しながら、ポートフォリオの見直しを進めている
- 市場リスク管理の高度化に努め、当行の体力に見合った運用方針で取り組んでいく

### 有価証券残高の推移



※組合出資金勘定を除く。

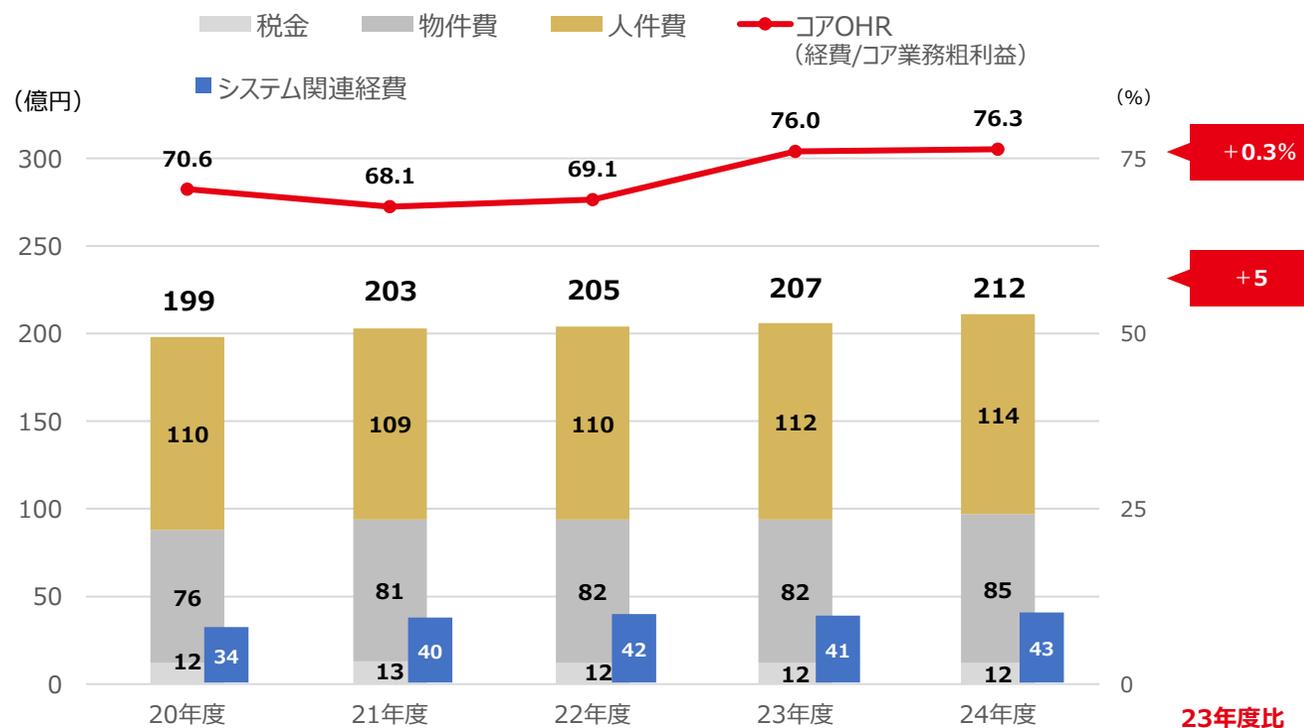
### 有価証券評価損益の推移 (その他有価証券)



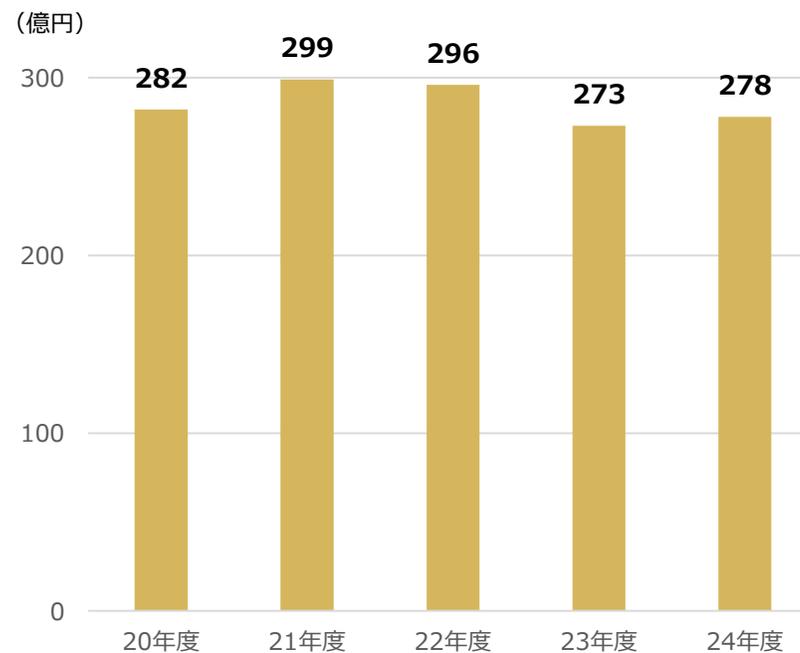
※組合出資金勘定を除く。

- 当行の成長戦略に必要な経費・投資は、今後も実施する
- OHRをKPIとして、引き続き経費のコントロールに努める

### 経費とコアOHRの推移



### 【参考】コア業務粗利益の推移

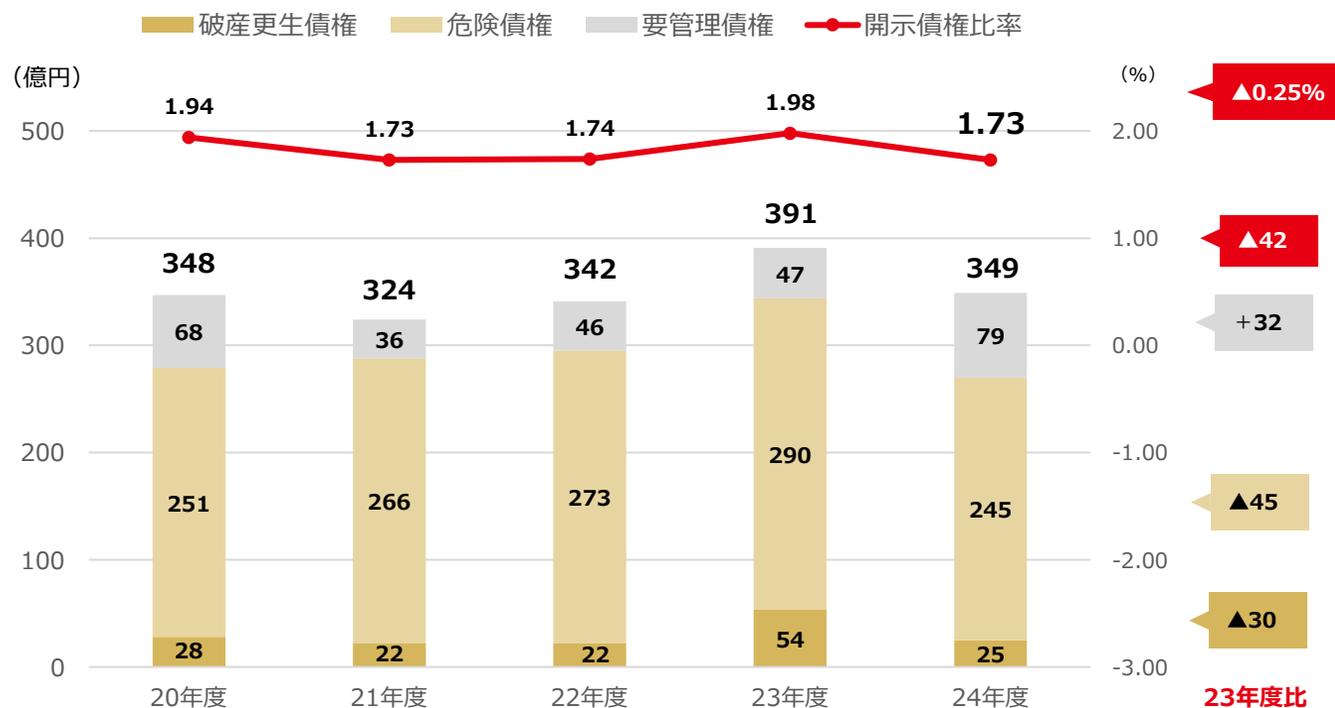


# 開示債権・信用コストの状況



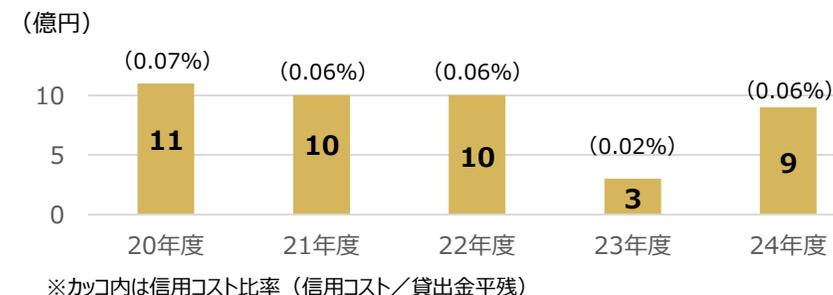
- 開示債権比率は、1%台で推移しており問題のない水準
- 信用コストの増加要因は、保守的な貸倒引当金の計上によるもの

### 開示債権の推移

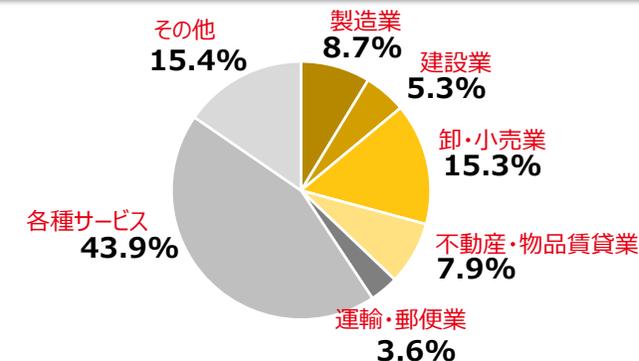


※開示債権の残高については、単位未満を四捨五入して表示している。

### 信用コストの推移



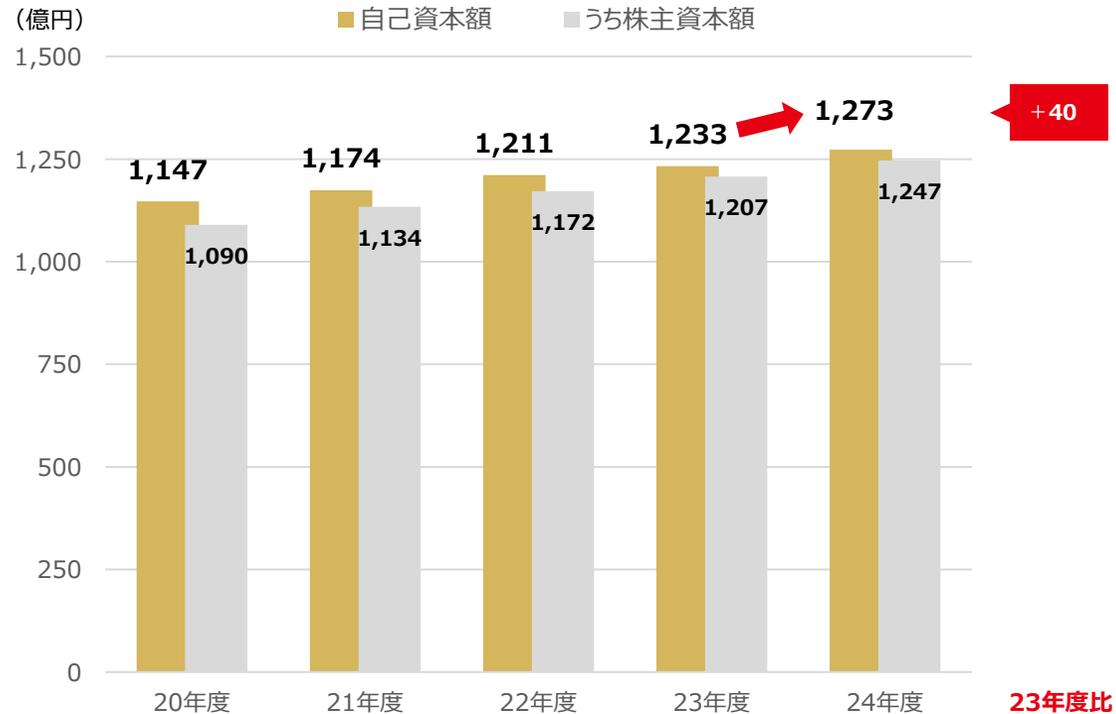
### 業種別リスク管理債権の内訳





- 自己資本額は堅調に増加
- リスクアセットコントロールやバーゼルⅢ最終化の適用により、自己資本比率は単体8%超へ上昇

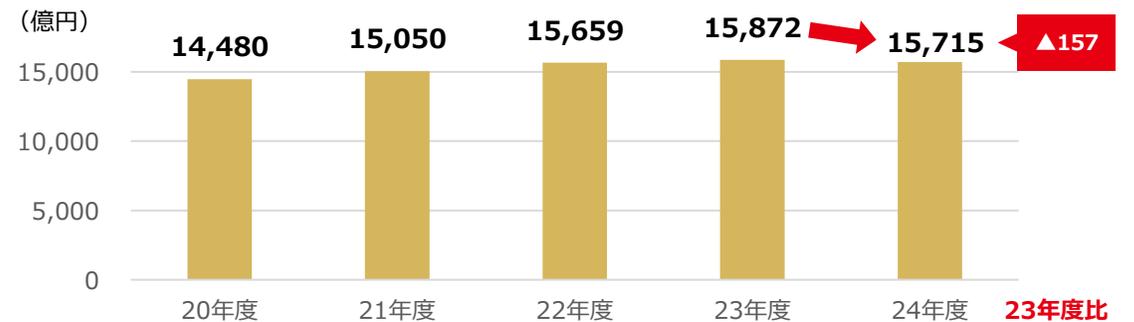
### 自己資本額の推移



### 自己資本比率の推移



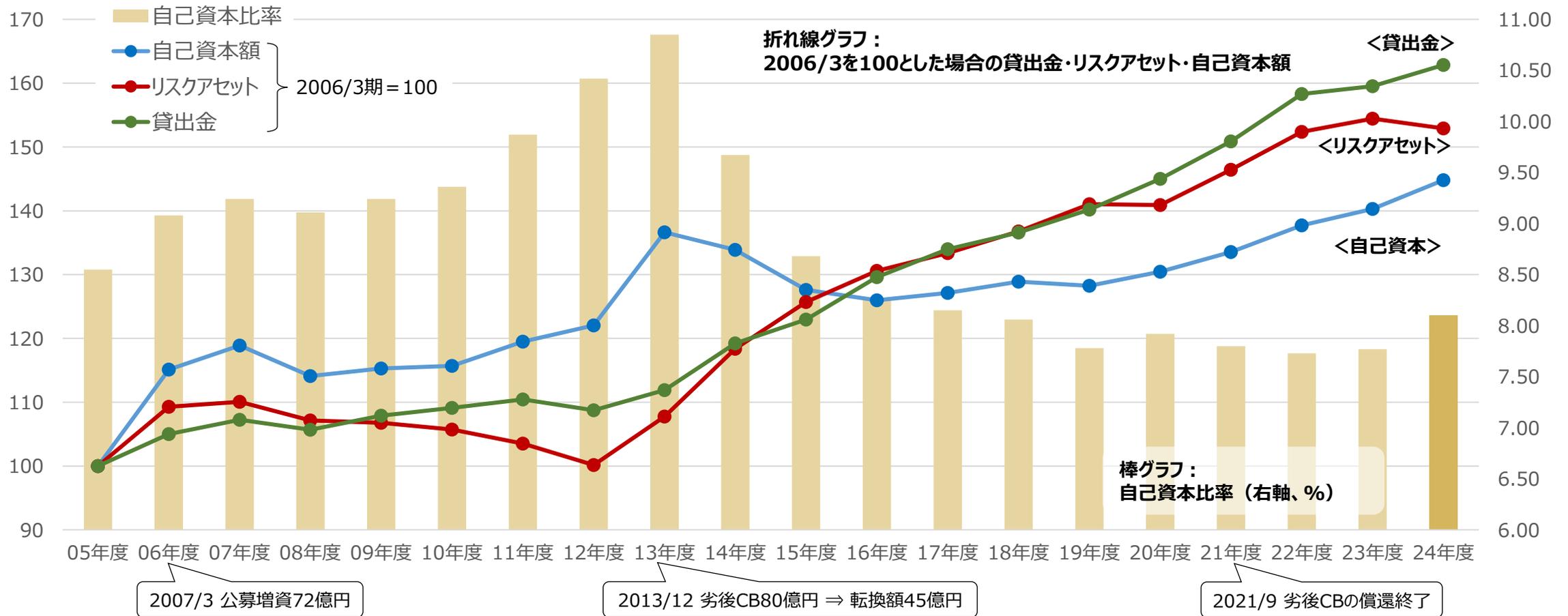
### リスクアセットの推移



# (参考) 自己資本の状況



- 地元企業の旺盛な資金需要に応えながら、リスクアセットのコントロールに努めている
- 当行のシップファイナンスは低リスクで良質な貸出金であると、格付会社から高い評価を得ている

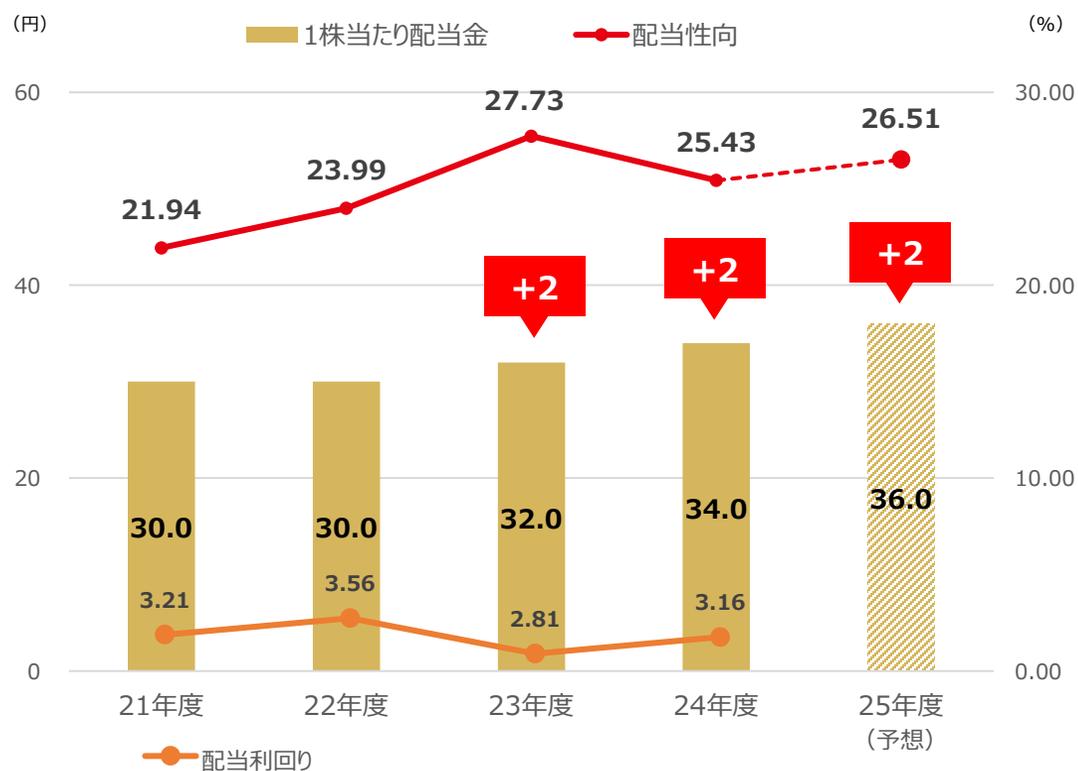


# 株主還元とROEの状況

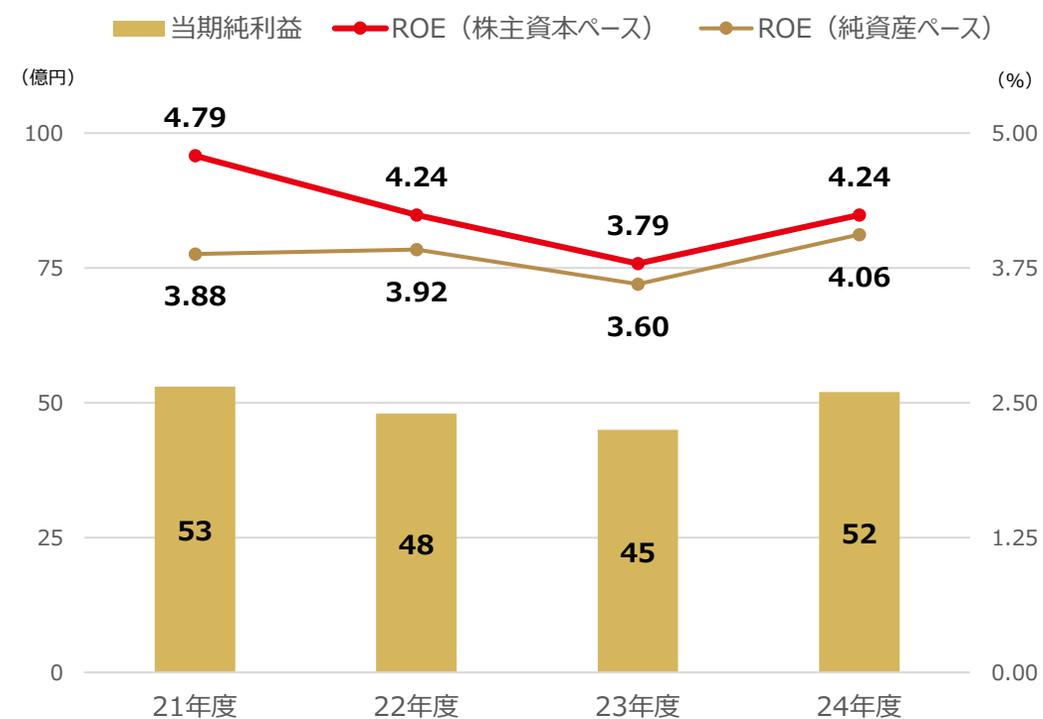


- 2025年度配当金は、創業110周年記念配当として2円増配予定
- ROEは、中期経営計画目標4%程度を達成

### 1株当たり配当金と配当性向



### ROEの推移



# 2025年度（2026年3月期）業績予想



(百万円)

	2024年度 実績	2025年度 予想	前年度比
<b>コア業務粗利益</b>	27,882	<b>27,400</b>	△482
資金利益	34,186	<b>32,700</b>	△1,486
役務取引等利益	△ 1,204	△ <b>900</b>	+304
その他業務利益	△ 5,100	△ <b>4,400</b>	+700
<b>経費</b>	21,270	<b>21,800</b>	+530
<b>コア業務純益</b>	6,611	<b>5,600</b>	△1,011
<b>経常利益</b>	7,084	<b>7,100</b>	+16
<b>当期純利益</b>	5,216	<b>5,300</b>	+84
<b>信用コスト</b>	934	<b>1,200</b>	+266

● **コア業務純益は、前年度比△10億円の56億円予想**

- **資金利益：**  
2025年3月に預金金利の引き上げを実施したことから、先行して上昇する預金調達コストの影響を受ける見込み  
円貨貸出金利回りの上昇幅は保守的に見積り
- **役務取引等利益利益：**  
法人コンサルティング収益や融資手数料により収益が拡大
- **その他業務利益：**  
外貨調達コストが低減することで改善予想
- **経費：**  
断続的な人的投資、システム投資を計画

● **当期純利益は、前年度比増益となる53億円を予想**

- **信用コスト**  
過去からの推移を元に保守的に計上

## 第2章

# 第18次中期経営計画の進捗

# 中期経営計画の位置付け



※ 当期純利益、ROEおよびOHRの実績ならびに目標は、すべて単体ベースの数値

計画名称/計画期間

第18次中期経営計画「変革への挑戦 3rd stage」  
2024年4月～2027年3月（3年間）

経営理念

- ① ふるさとの発展に役立つ銀行
- ② たくましく発展する銀行
- ③ 働きがいのある銀行

基本方針

- ① 「金融プラス1」収益力の強化
- ② 強固な経営基盤の確立
- ③ サステナビリティ経営の実践

目指す姿

**お客さまに寄り添い 地域の発展に貢献する**

## 1. 地域シェアの拡大と役務収益力の強化

- ✓ 地場産業の育成を通じて地域の発展に貢献する
- ✓ 役務収益ビジネスの更なる強化を進め、新たな企業価値を創造する

- 預貸金総和 5兆円達成
- 役務取引等収益 55億円達成

## 2. 経費コントロールによる安定収益確保

- ✓ 選択と集中による戦略的投資（人的資本、DX）を継続する
- ✓ APプラットフォームの本格稼働による業務効率化、収益化を推進する

- OHR 60%台達成

## 3. 株価・資本コストを意識した経営

- ✓ RORAの改善と財務レバレッジコントロールにより中長期的にROE向上を目指す
- ✓ 連結自己資本比率は8%台を維持する

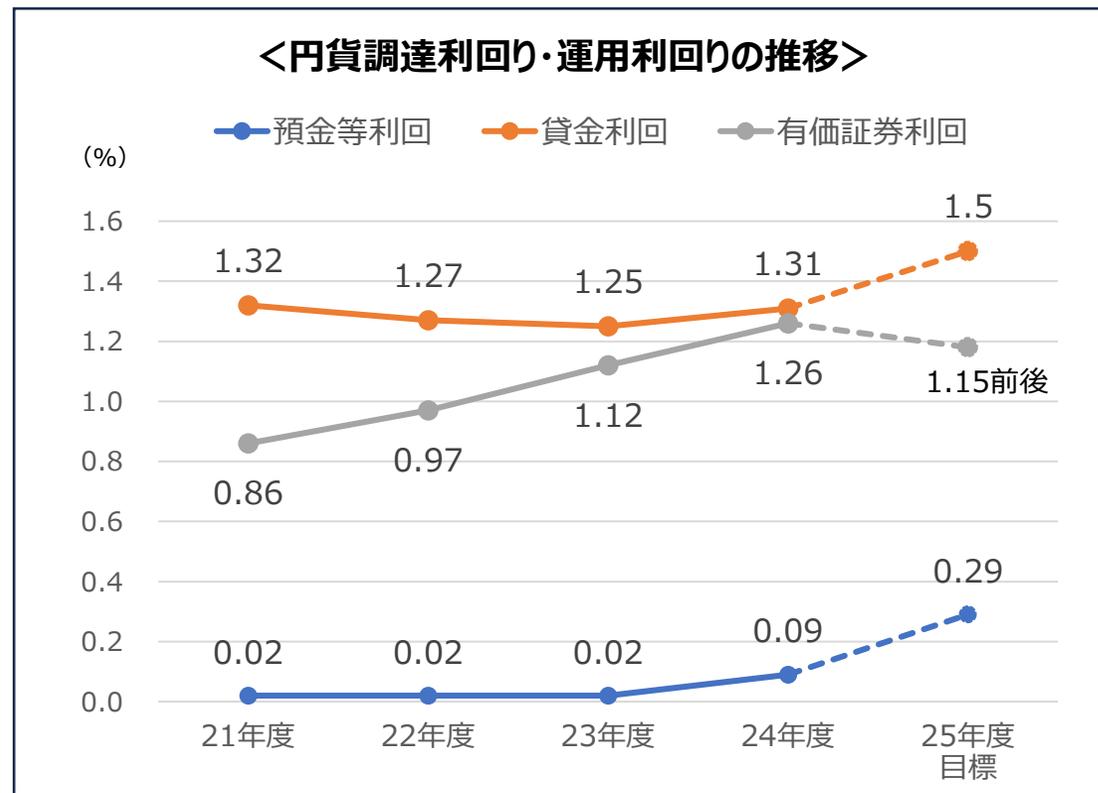
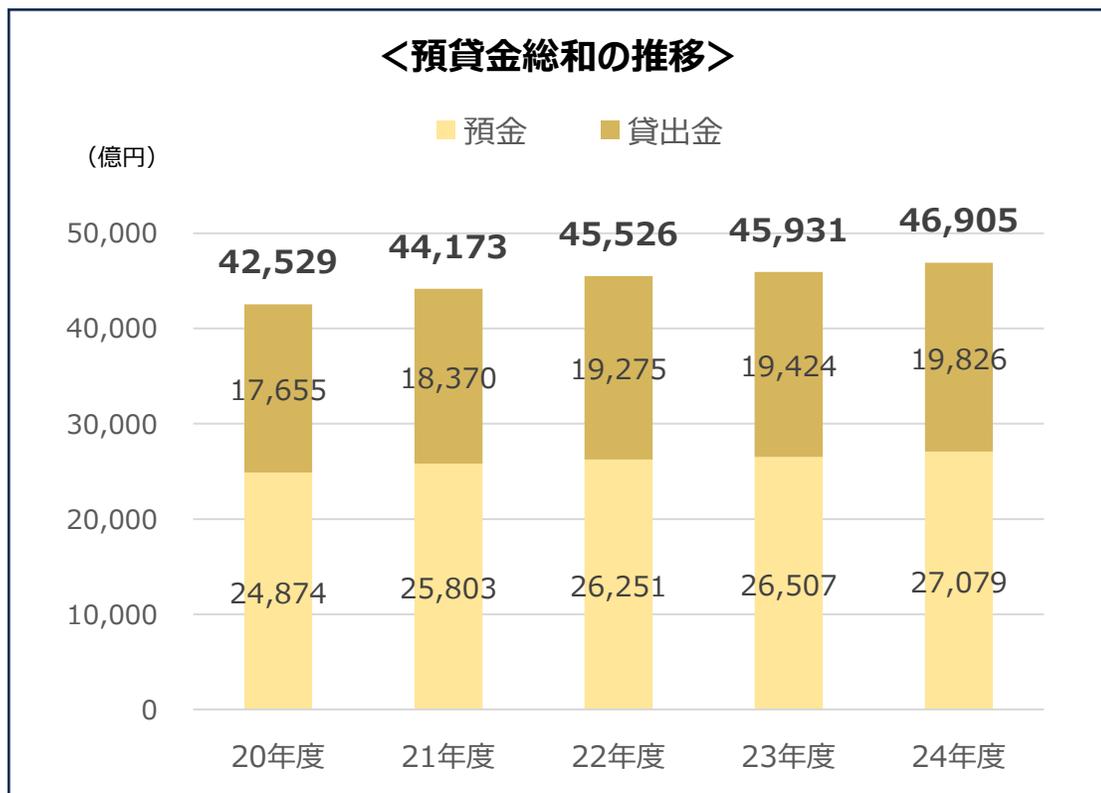
- 安定配当を基本とし配当性向30%以上を目指す

※ 特に記載がない場合、実績ならびに目標は単体ベースの数値

# 1. 地域シェアの拡大と役務収益力の強化 ~預資金総和 5 兆円を目指して~



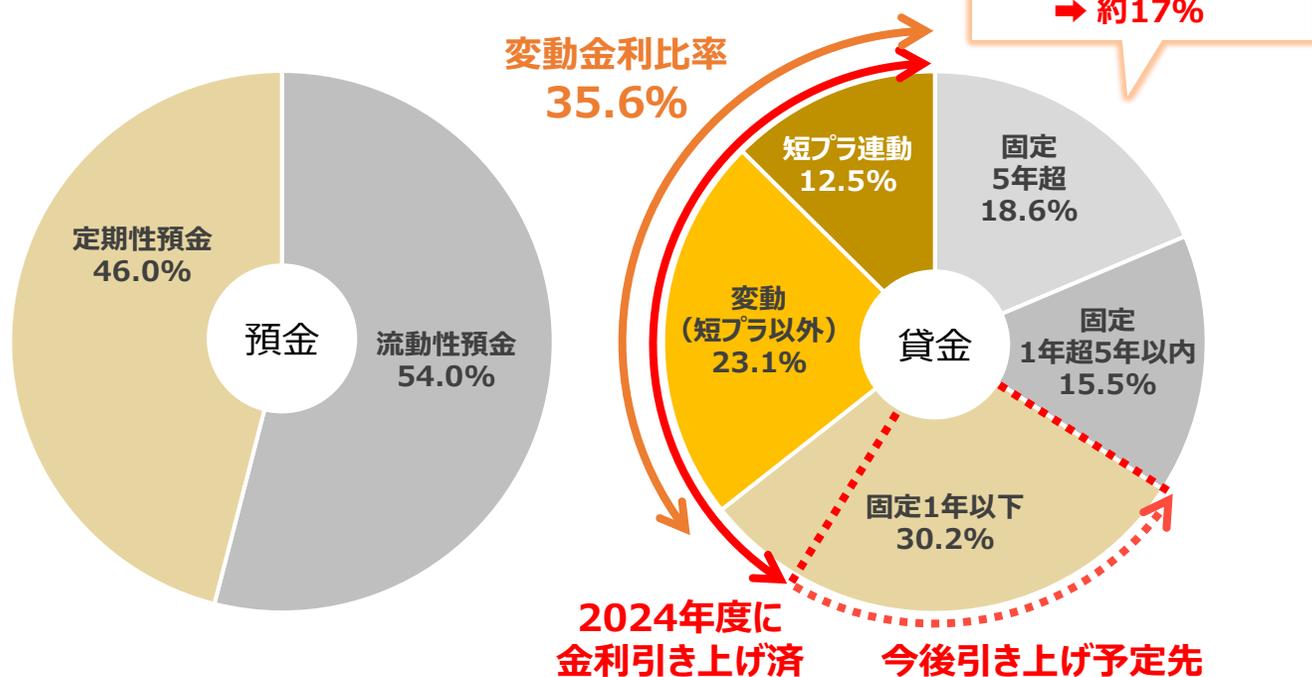
- 2024年度は、預金・貸出金とも順調に増加
- 円貨調達利回り・資金運用利回りにも適切に関与





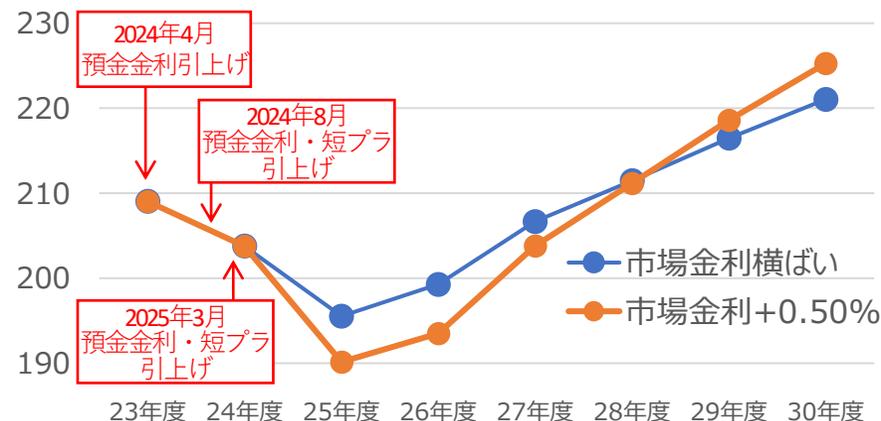
- 当行貸出金ポートフォリオにおいて、1年以内に約3分の1が固定金利期間を終え、現在の金利水準に追隨する計画
- 資金利益は、1～2年でプラスに転ずる予定

## <預貸金の構成比> (2025年3月末現在)



## <金利上昇による円貨預貸金利ザヤのイメージ> (2025年3月末基準)

※当行独自のシミュレーションに基づき、残高一定等の前提を置いて算出  
 市場金利横ばい …… 金利更改または満期が到来する残高を新たな適正金利で置換  
 市場金利+0.50% …… 市場金利が一律0.5%平行上方シフトした場合の追加的な影響を加味



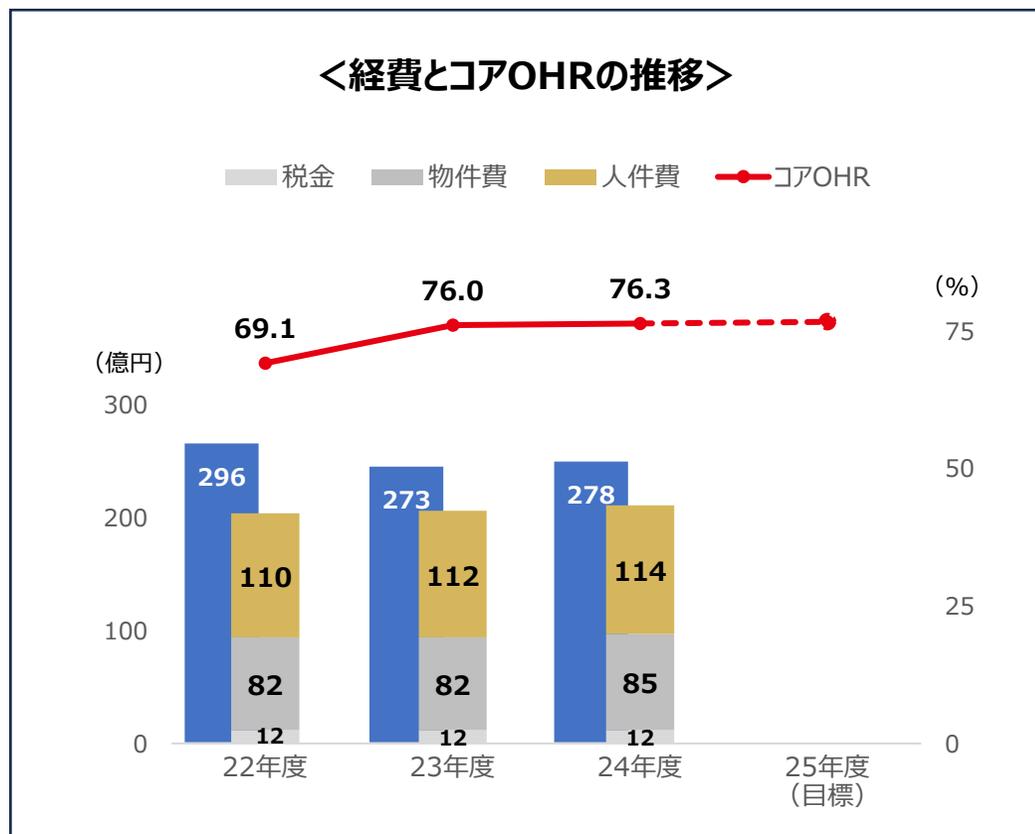
(推移イメージ)	2024年度 (実績)	2025年度	2026年度	2027年度
円貨預貸金利ザヤ	203億円	190～195億円	195～200億円	205億円程度

## 2. 経費コントロールによる安定収益確保

～OHR60%を目指して～



- 2024年度は、経費コントロールは概ね計画通りに進捗するも、調達コストが先行し、OHRの改善は限定的にとどまる
- 各システム投資のうち、2024年7月に導入したAPプラットフォームでは、年間8,700時間の業務時間削減効果を確認



### ＜APプラットフォーム関連投資の過去実績＞

2024年1月：勘定系システム更改完了  
 2024年7月：APプラットフォーム上へ営業店事務を順次シフト  
 2025年1月：融資自動実行

### ＜APプラットフォームでの投資効果（年間）＞

営業店業務時間：約8,700時間 削減

### ＜これまでのシステム投資効果（年間）＞

約90,000時間 削減

### ＜今後の計画＞

2025年～：オペレス伝票レスを順次実現  
 2028年：勘定系端末機を営業店から撤去

# 3. 株価・資本コストを意識した経営

～中長期的なROE向上を目指して～

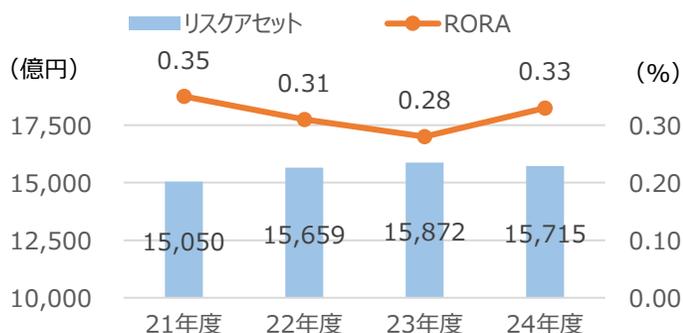


- 引き続き、ROEの向上に努めていく
- 4つの視点（収益力強化、経費コントロール、リスクアセットコントロール、適切な株主還元）の施策を着実に実施していく

## <ROEイメージ>



## <リスクアセットとRORAの推移>



## <役務取引等収益の推移と目標>



## <株主優待制度の導入>

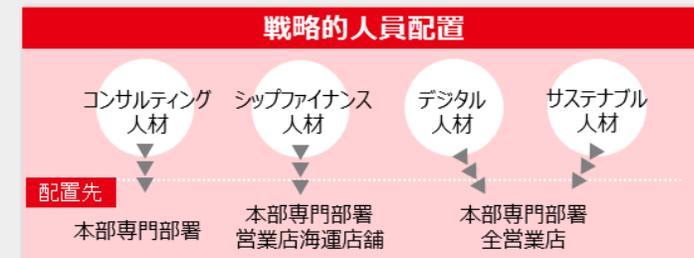
- 当行株式の投資魅力を高め、より多くの方々に保有していただくことを目的に導入
- 優待品に愛媛の特産品をラインナップし、愛媛の魅力発信と地域振興に貢献



※ 実績ならびに目標は、すべて単体ベースの数値



## 事業者支援強化



お客さまの真のニーズや課題を適切に把握し、企業のライフステージに応じた販路拡大、人材紹介、事業承継、M&Aなどの具体的な解決策を提供

### コンサルティング人材

#### ■ 事業承継・M&A支援チームによる顧客支援

【支援例】

2024年7月、飲食店（八勝亭波止浜店）の事業承継を支援



地域に愛されてきた人気洋食店  
後継者不足の経営課題を解消し、  
事業を次世代につなぐため積極的に  
支援した事例

#### 事業承継支援 取組件数



#### 人材紹介業務 成約件数



#### ■ 人材紹介による顧客支援

人材紹介会社に派遣していた若手行員が帰任したことで、  
両手型人材紹介業務の取り組み件数が加速。

### デジタル人材

#### ■ デジタル戦略室による顧客DXサポート

- 2024年度に取扱開始したDXツールが好評であり計画を大幅に上回る進捗
- 引き続き、顧客ニーズに沿ったDX提案を実施していく
- メガバンクの顧客DX推進部署への行員出向により、都市部の先進的なDX取組み事例を吸収

#### 顧客DX サポート件数





## 事業者支援【取組み事例】

### クリニック開業支援

- 厚生労働省へ行員を出向派遣し培ったノウハウを生かした医業支援に強み
- 愛媛県医師会とも支援連携

#### ● 一般社団法人愛媛県医師会との連携協定に基づく開業支援

- ・クリニック名称：こんどうファミリークリニック
- ・所在地：愛媛県四国中央市
- ・開業日：2024年10月1日



#### ● 当行旧支店を活用した開業支援

- ・法人名称：医療法人 青空会
- ・クリニック名称：うみ・まちクリニック
- ・所在地：愛媛県四国中央市
- ・開業日：2024年4月1日



### 日本政策金融公庫との支援連携

- 日本政策金融公庫との連携を促進し、事業承継に直面する企業や承継に取り組む企業などを、地域経済の活性化のため積極的に支援

#### ● 株式会社小林果園に対する協調融資

- ・借入人：株式会社小林果園
- ・資金使途：西予市多田工場新設資金
- ・実行日：2024年11月15日



#### ● 株式会社UCHIKOに対する事業承継支援に伴う資金の協調融資

- ・承継企業（融資先）：株式会社UCHIKO
- ・被承継企業：いなりや





- ふるさと愛媛を応援する仕組みづくりとして『HandyBank支店』を新設
- 「愛媛を応援・地域貢献」という当行の思いに共感した、セブン銀行・NEC・SBIネオファイナンスサービスと協業



## 全国でのリアル拠点

## NEC

## 金融知識向上/手ぶら金融

## SBI NEO FINANCIAL SERVICES

## デジタルチャネルの強化



### 「HandyBank 支店」開設

### 愛媛を応援! ~HandyBank から広がり、愛媛を身近に~

NEC ひめぎん銀行 セブン銀行 SBI NEO FINANCIAL SERVICES

### ▲プロジェクト開始に合わせたセレモニーの様子

手軽に  
管理

# スマホ

### ひめぎんアプリで取引できるサービス



- ▶ **口座開設**  
(普通預金・証券口座・NISA口座)
- ▶ 残高・入出金明細照会
- ▶ 振込・振替
- ▶ 定期預金取引
- ▶ 投資信託取引
- ▶ 住所・電話番号変更
- ▶ 引き落とし予定照会
- ▶ NEOBANK  
(公営競技・スポーツくじ)

新規口座開設~  
各種手続きまで

# ATM

### セブン銀行ATMで取引できるサービス

- ▶ **口座開設申込**
- ▶ 入金/出金
- ▶ 振込
- ▶ お客様情報変更申込
- ▶ 在留期限更新申込
- ▶ カードローン仮申込  
(クイックカードローン)
- ▶ 口座解約申込





## HandyBankプロジェクトの目指す姿

# 愛媛を応援！

～ HandyBankから広がり、愛媛を身近に ～

## 愛媛に「縁」のある方々と愛媛を繋ぎ、愛媛の活性化を目指す

県産品需要への寄与



魅力情報の発信



県内事業者を応援





## HandyBankプロジェクト ロードマップ

5年後目標

総預金  
500億円

### 【機能】（いつでも、だれでも、どこでも）

- スマホで手続き完結
- セブン銀行「ATMお知らせ/窓口サービス」の導入（口座開設・解約、お客様情報更新など）
- セブン銀行との共同ATM設置

### 【地域を応援】

- 県産品ギフトカタログ付定期預金
- 愛媛の食や観光に関する魅力発信
- 金融教育コンテンツの提供「Shines」「ひめぎん学校」

### 【サービス向上】

- HandyBank支店ならではの金融商品提供（証券、生保、損保など）
- 顔認証機能などの活用
- AIによる資産運用相談
- アプリとIBの一体化

### 【地域を応援】

- BaaS機能の提供
- 愛媛のモノ/コト特典の定期預金商品開発

### 【地域を応援】

- スマートシティ構想への挑戦
- インバウンド向けサービス拡張
- HandyBank支店ならではの資金供給施策
- HandyBank支店専用の愛媛県ツアー企画
- 地域産品への投資環境に貢献
- 産業誘致、移住/定住への貢献

HandyBank 支店開設  
(2025年3月)



## ■ ひめぎんラップ/ROBO PRO AIラップ 運用資産残高 50 億円達成

ひめぎんラップ  
ROBO PRO AIラップ



資産運用にAIを活用し、景気循環を予測し、毎月ダイナミックに資産配分を変更する「ひめぎんラップ」。2023年4月サービス開始し、2024年12月に運用資産残高50億円を突破

【ひめぎんラップ運用資産残高の推移】



FOLIO社・・・日本で唯一となるAIラップの投資運用業者。投資一任プラットフォームを提供しており、愛媛銀行は、地域金融機関として初めてこの基盤を導入。

## ■ 金融経済教育

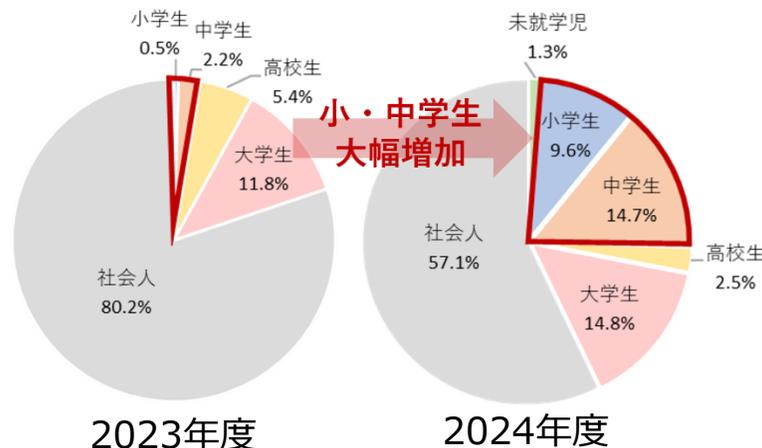
2024年度受講者数：4,565人（目標：1.5万人/3年）

※小・中学生の受講者が大幅に増加【若年層への取組み強化】

※J-FLEC本部とのコラボセミナーも実施

※当行HPに専用サイト「ひめぎん学校」新設

【金融経済教育セミナー受講者内訳】





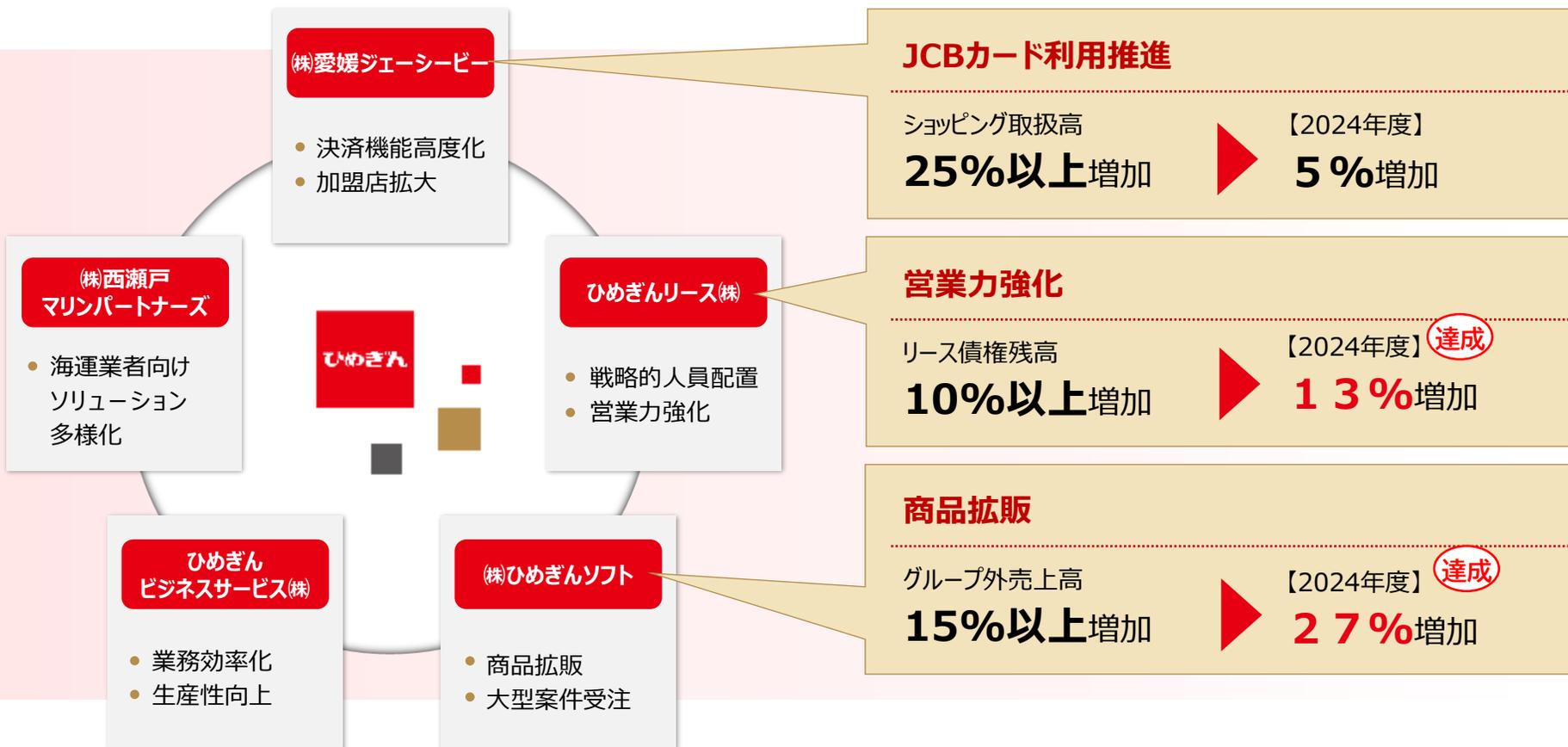
## 連結子会社各社の経営計画

子会社各社が持つソリューション機能の高度化と経営資源の最適配賦によりグループ収益を最大化



第18次  
中期経営計画期間中

子会社利益  
15%以上増加



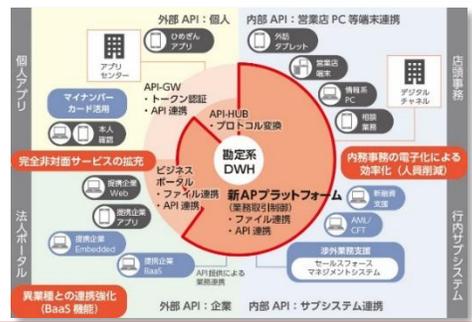


# 生産性向上 (DX)



## 2024年7月 APプラットフォーム稼働

- 7月から日次事務の一部を自動化
- 2025年1月から融資支援システムとの連携により融資実行を自動化



## 2025年3月 「HandyBank支店」開設

- 個人取引（事務手続き）のデジタルシフトを推進
- HandyBank支店が浸透することで、今後API活用率はさらに上昇を見込む



2023年  
2月



2024年  
1月

2024年  
7月



2025年  
1月

2025年  
4月

2028年



実施済

「DX認定事業者」  
認定取得



勘定系システムは  
メインフレームで  
更改完了

営業店事務を  
プラットフォーム上へ  
順次シフト開始

融資実行の  
自動連携

<直近の予定施策>

- ・マイナンバーカードとの連携
- ・検証事務の自動化・省力化 等

オペレス  
伝票レスを  
順次実現

勘定系端末機を  
営業店から撤去

目指す将来像

お客さまとの接点を増やし  
「寄り添う時間」  
を最大化する

生成AI活用  
研究会へ参画

全店試行開始

業務代替等さらなる活用を検討

API  
活用率

2023年度 (実績)

49.5%

2024年度 (実績)

53.2%

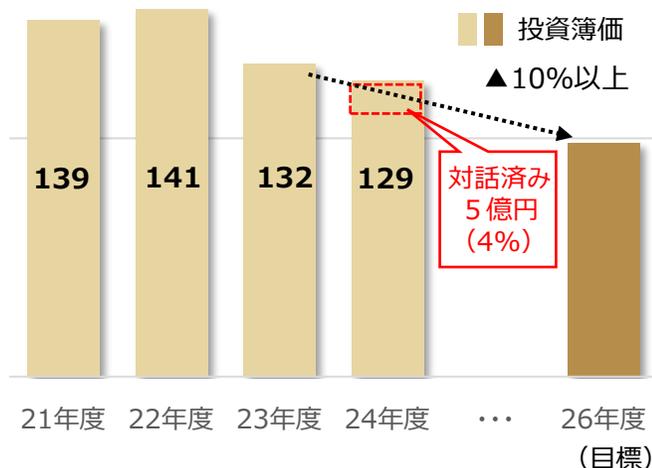
2026年度 (目標)

60%以上

- 企業価値の向上、政策保有株式の縮減といった財務面は中期経営計画に沿って進める
- 定性的な取組みとして、取締役会の第三者評価導入など、ガバナンス体制の更なる高度化を図る

### 政策保有株式の縮減

<政策保有株式の残高推移（億円）>



政策保有株式  
縮減率

▲2.1%

▲10%  
以上

政策保有株式の縮減も順調に推移

### 企業価値向上

#### 株主還元

P.13参照

▶ 安定配当を基本とし配当性向30%以上を目指す

#### 健全性

P.11参照

▶ 連結自己資本比率8%以上を堅持し、健全性を確保

#### 取締役会の第三者評価導入

2025年5月の取締役会にて、  
2025年6月の取締役会から第三者評価の  
導入を決定

### サステナビリティ

#### ESG投資実行

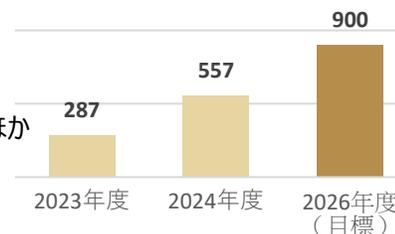
社会問題や環境問題の解決に向けたお客さまの取組みを支援

社会分野：

医療・介護福祉、教育 ほか

環境分野：

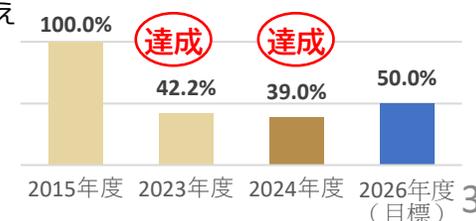
太陽光、風力、バイオマス ほか



#### GHG排出量削減

ひめぎんグループのエネルギー使用に伴うGHG排出量の削減

- ・再生エネルギー由来の電力に切り替え
- ・保有車両をEV車に切り替え
- ・省エネ機器への更新 など





## 地域価値創造

<新たな地域価値・企業価値の創出>

起業支援

新規事業創出支援

<経営人材・専門人材の確保>

経営人材の支援

外部連携の活用

### ■ ひめぎん新規事業創出プログラム

- ・愛媛県内中核企業とスタートアップ企業とのオープンイノベーションにより新規事業の創出を目指す伴奏支援型のプログラム
- ・2020年から開催しており、2025年度までに延べ20社の県内を代表する企業が参加し、様々な協業案を創出



### ■ PPP/PFIの取組み

- ・「愛媛PPP/PFI地域プラットフォーム」（内閣府・国交省後援、事務局：愛媛銀行）を通じ、松山市斎場再整備・運営事業の事業化を伴走支援
- ・当行が支援するコンソーシアムが同事業を受託



### ■ 「みんなの愛顔づくりプロジェクト」実施

- ・当行若手行員と愛媛県の若手職員、19名が4チームに分かれて地域活性化策を約5か月議論
- ・まとめた地域活性化策について、中村愛媛県知事、西川頭取宛にプレゼンテーション



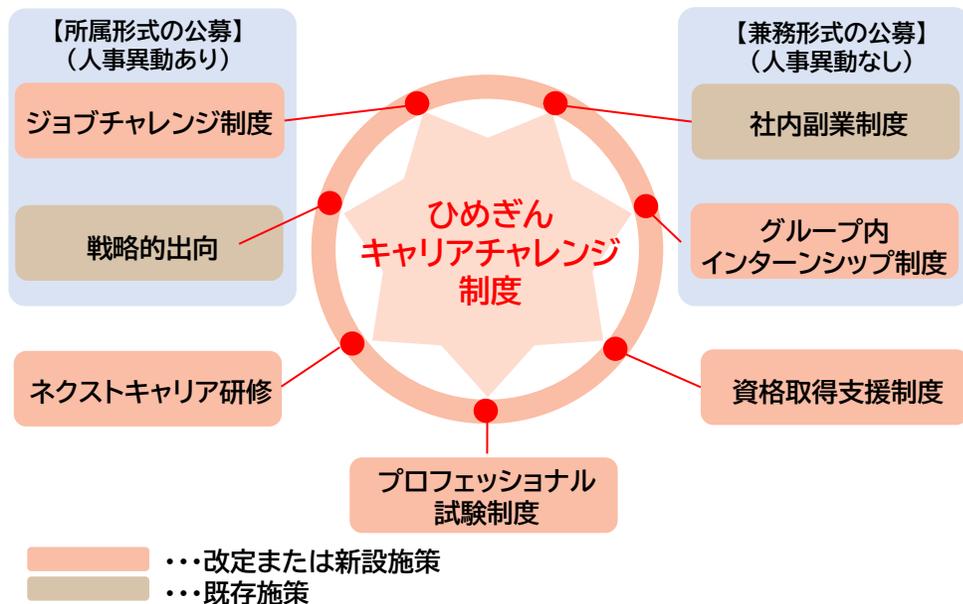


## ■ ひめぎんキャリアチャレンジ制度 (2024年6月1日)

自律的キャリア形成を促し、挑戦と成長を後押しするため、7つのチャレンジングな施策をパッケージ化し、運用を開始

### 【導入目的】

- 1) グループ全体の組織活性化
- 2) 働きがい、エンゲージメントの向上
- 3) 持続的な成長を支える人材への投資による人的資本の最大化



## <社内副業の例>

- ・県内各所で金融経済教育を実施するため、セミナー・イベントの企画・運営および講師を行う担当者を募集し、3名を配置

**社内副業による金融経済教育担当者**  
24年度実績 3名

## シニア層への人的投資

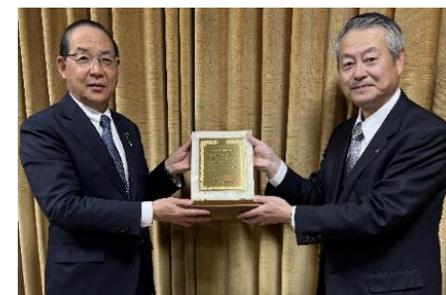
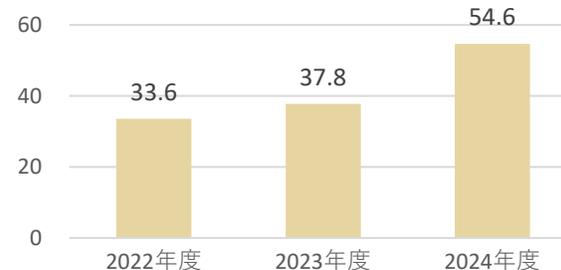
- ・2024年7月よりシニア社員に適用する「継続雇用規程」を改定し、シニア社員の最大限の能力発揮とモチベーション向上につなげるため、「マイスター手当」の支給を開始

**「マイスター手当」支給対象者**  
24年度実績 69名 (延べ人数)

## 若手・中堅行員への人的投資

- ・教育研修、勉強会開催、公的資格取得援助など、人材育成分野への積極的な投資を実施するとともに、ベースアップにも取り組み

<研修関連費用> (百万円)



- ・国の認定資格「SDGs・ESG金融試験」では、2024年2月に102名の合格者を輩出し、金融検定協会より最優秀団体賞を受賞



## 女性活躍

### くるみん認定：愛媛県労働局



2024年6月、当行としては初めて、仕事と子育ての両立を推進している優良な子育てサポート企業を認証する「くるみん認定」を取得しました。

<今回評価を受けた主な取組み>

- ・カムバック制度の導入
- ・女性の活躍領域を拡大

### ひめボススーパープレミアム認証：愛媛県



HIMEROSS  
ひめボス

認証事業所

愛媛県が女性活躍推進や仕事と家庭の両立支援などに積極的に取り組んでいる企業を認証する「ひめボス宣言事業所」の上位認証を取得しました。

## 2025年度追加指標

### エンゲージメントスコア

職員の企業への共感と積極性の指標

24年度  
実績

26年度  
目標

71.7

70以上

### キャリアチャレンジ制度実現者数

募集する部署へ自ら手を挙げるができる制度

24年度  
実績

26年度  
目標

101名

200名  
以上

### 女性管理職比率

23年度  
実績

24年度  
実績

26年度  
目標

12.3%

14%

15%  
以上

### 女性平均勤続年数

23年度  
実績

24年度  
実績

26年度  
目標

12.5年

12.6年

13.5年

### 男女間賃金差

23年度  
実績

24年度  
実績

26年度  
目標

47.7%

達成

50%

52%以上  
↑  
50%以上

新目標

第4章

# 補足情報

# 愛媛銀行 プロフィール



名称

**株式会社 愛媛銀行** (The Ehime Bank, Ltd.)

(2025年3月末現在)

所在地

**愛媛県松山市勝山町 2 丁目 1 番地**

創業

**大正 4 (1915) 年**

資本金

**213 億 67 百万円**

預金等

**2 兆 7,079 億円**

貸出金

**1 兆 9,826 億円**

店舗数

**111 店舗** (本支店 99、出張所 12)

拠点数

**84 拠点**

行員数

**1,255 名**

上場市場

**東京証券取引所 プライム市場**

証券コード

**8541**





1915年 (創業)

**東豫無尽蓄積株式会社設立**

1943年 3月

**愛媛県内の無尽会社5社が合併し、愛媛無尽株式会社を設立**

1951年 10月

**相互銀行に転換、株式会社愛媛相互銀行に商号変更**

1971年 4月

**株式を大阪証券取引所市場第2部に上場**

1972年 2月

**株式を大阪証券取引所市場第1部に上場**

1985年 12月

**株式を東京証券取引所市場第1部に上場**

1989年 2月

**普通銀行に転換、株式会社愛媛銀行に商号変更**

2000年 10月

**北温信用組合と合併**

2008年 4月

**インターネット支店「四国八十八カ所支店」開設**

2022年 4月

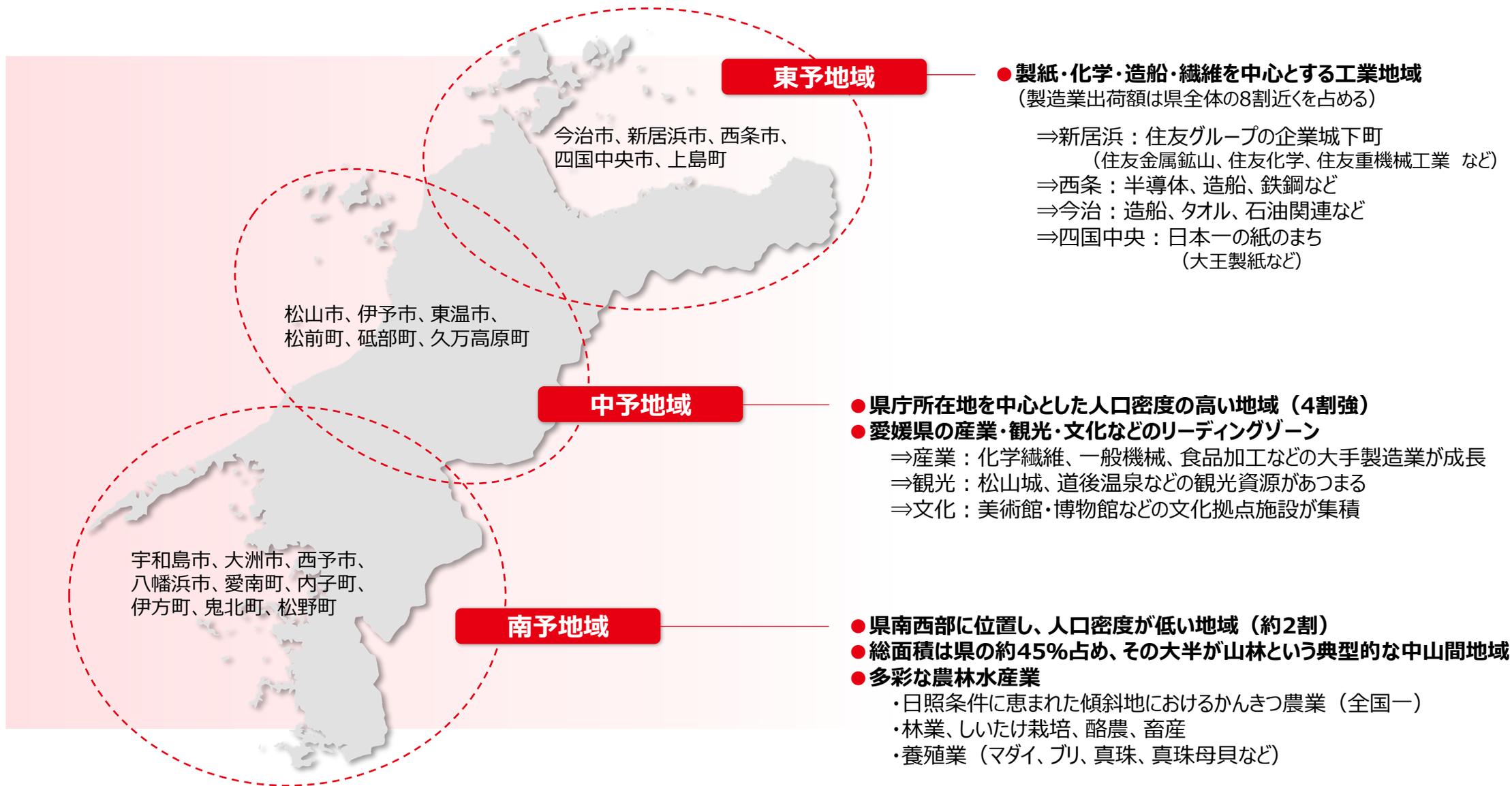
**東京証券取引所プライム市場へ移行**

2025年 3月

**デジタル支店「HandyBank支店」開設**



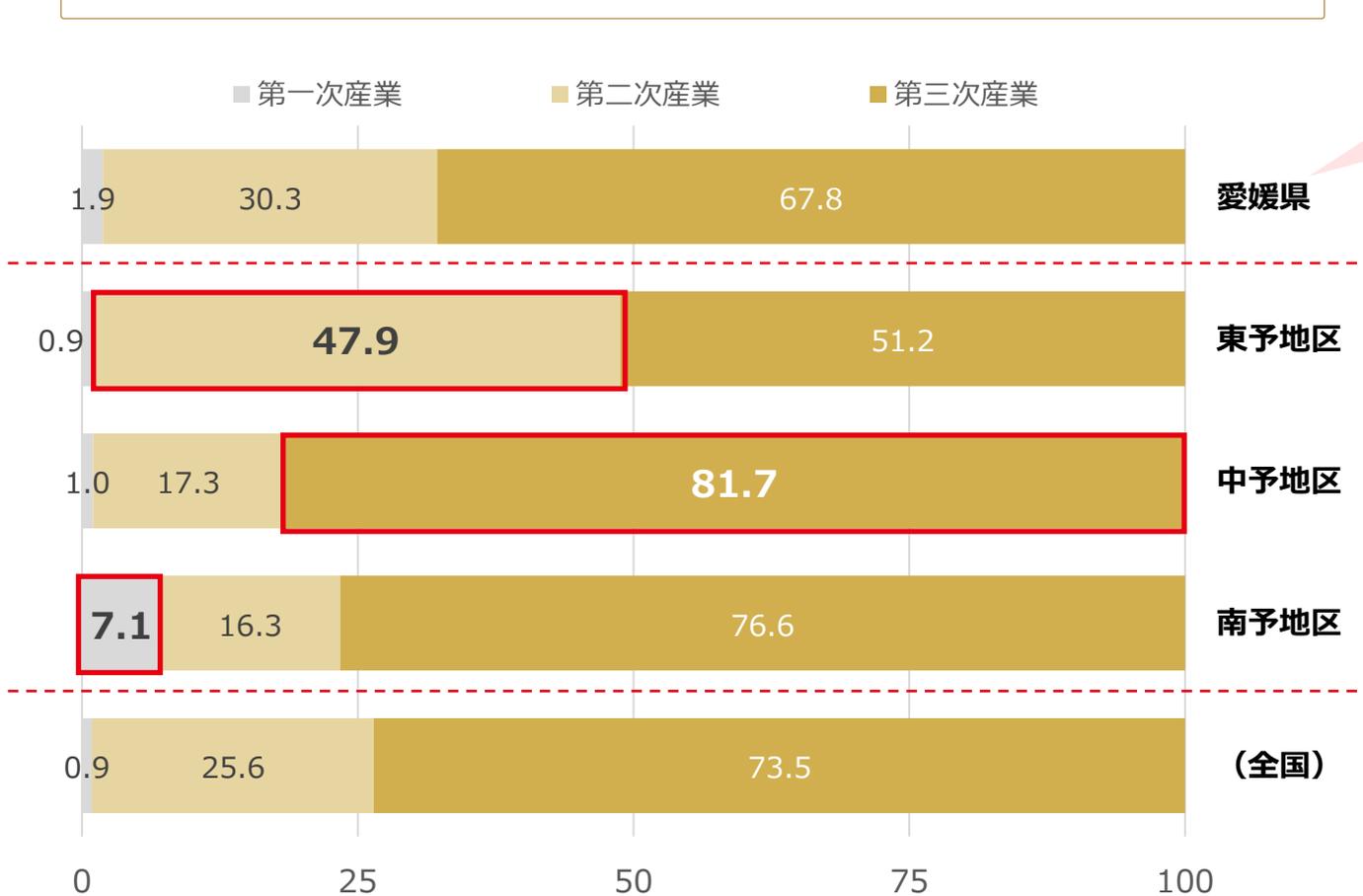
	会社名	業務内容	
＜連結子会社＞	<b>ひめぎんビジネスサービス株式会社</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現金等の精査・整理業務</li> <li>○現金自動設備の保守管理業務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特定取引先の集金業務</li> <li>○文書等の集配および輸送車の運行管理業務</li> </ul>
	<b>株式会社ひめぎんソフト</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コンピューターのソフトウェアの開発</li> <li>○コンピューターシステム運営・管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コンピューターによる情報処理</li> <li>○コンピューターソフトに伴う付属機器の販売</li> </ul>
	<b>ひめぎんリース株式会社</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○リース業務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○投資業務</li> </ul>
	<b>株式会社愛媛ジェーシービー</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○クレジットカード業務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○信用保証業務</li> </ul>
	<b>株式会社西瀬戸マリンパートナーズ</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○シップファイナンス支援業務</li> </ul>	



# 愛媛県の産業動向



愛媛県の産業別構成比（2022年度）



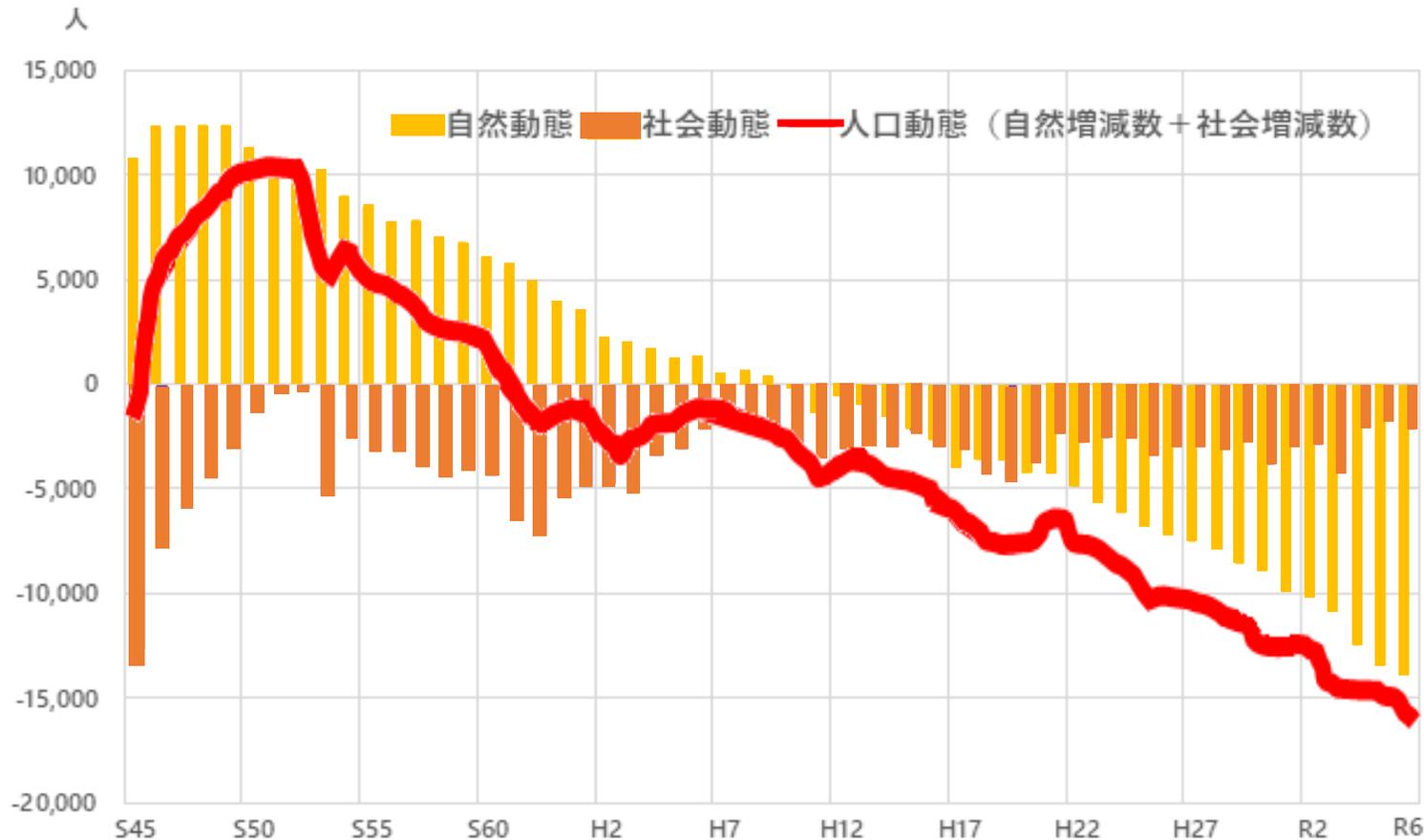
愛媛県は、全国に比べ第一次産業（農林水産業）と第二次産業（鉱業・製造業・建設業）のウエイトが高く、特に製造業は25.4%を占める

【地域別の特性】

- 第二次産業のウエイトが高い
- 第三次産業のウエイトが高い
- 第一次産業のウエイトが高い

(注) 構成比の分母としている県内・地区内総生産には「輸入品に課される税・関税」、「(控除) 総資本形成に係る消費税」が含まれているので、構成比合計は100にならない。  
 出典：内閣府「県民経済計算」、愛媛県「市町民所得統計」

愛媛県内の人口動態の推移



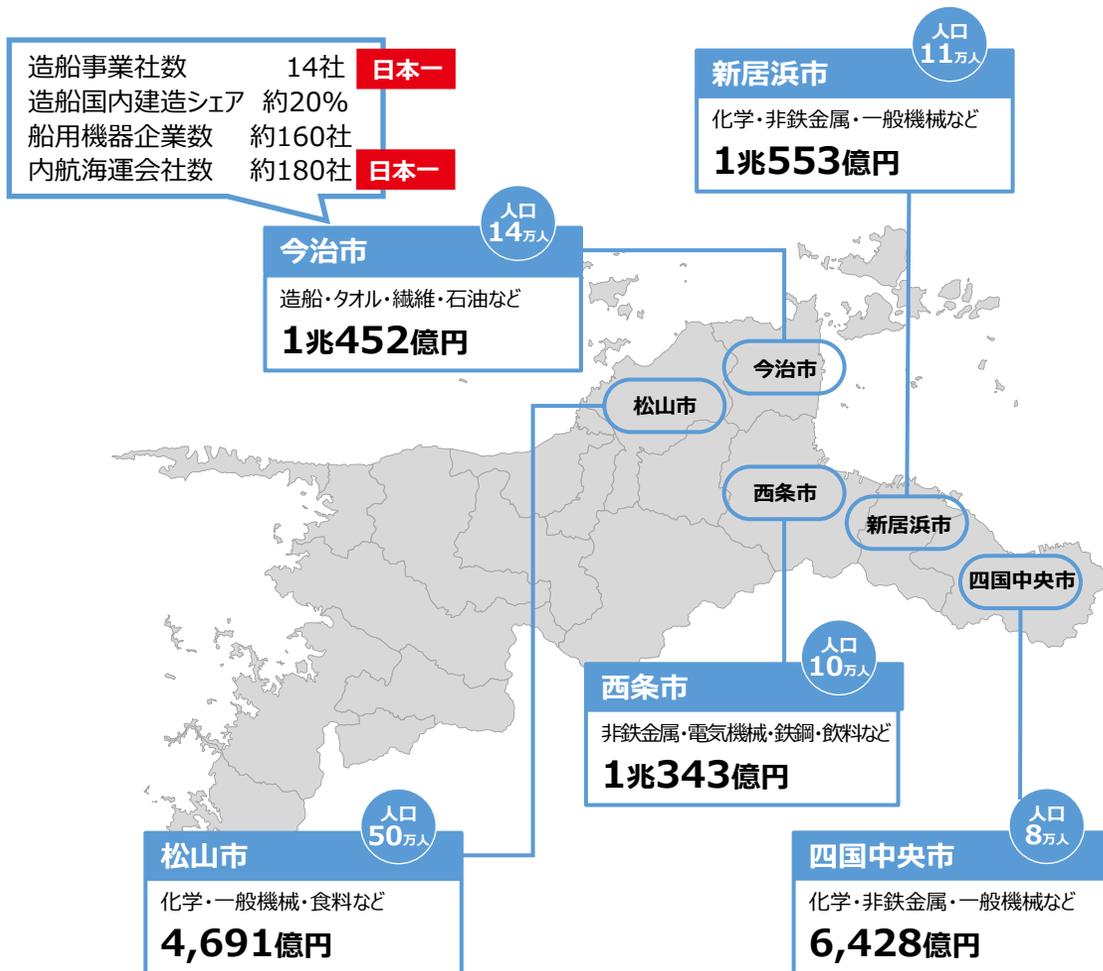
- ◆愛媛県内の人口減少は、拡大
- ◆人口減少の主要因は自然動態  
(少子高齢化の影響)
- ◆進学・就職等による県外への人口流出も継続

(出典：愛媛県「人口動態の推移」)

# 愛媛県の産業動向



## 愛媛県内主要都市の製造品出荷額等



出典：愛媛県「えひめが誇るスゴ技ホームページ」（経済構造実態調査2022年）、  
 今治市、国土交通省2022年に基づき当行作成

## 愛媛県の主要特産品の生産量または出荷金額

工業製品	順位	愛媛県	全国
障子紙、書道用紙	1位	24億円	58億円
タオル地	1位	13億円	23億円
祝儀用品（水引・金封等）	1位	52億円	113億円
その他の製紙機械	1位	103億円	219億円
その他の非鉄金属 （第1次製錬・精製によるもの）	1位	2,137億円	5,760億円
自動車用電球	1位	116億円	380億円
農林産品	順位	愛媛県	全国
いよかん（令和3年）	1位	2万1,611トン	2万3,576トン
キウイフルーツ（令和4年）	1位	4,790トン	2万2,900トン
せとか（令和3年）	1位	3,857トン	5,700トン
裸麦（令和4年）	1位	4,340トン	1万7,000トン
水産品	順位	愛媛県	全国
養殖まだい（令和4年）	1位	3万8,604トン	6万8,088トン
養殖しまあじ（令和4年）	1位	2,170トン	4,488トン
真珠母貝（令和4年）	1位	277トン	458トン
真珠（令和4年）	2位	4,058kg	1万2,768kg

出典：工業製品出荷額（令和2年～令和3年、経済産業省統計）、農林水産品生産量（令和3年～令和4年、農林水産省統計）

# 中期経営計画 主要KPI指標の2024年度実績



法個人コンサルティング	2023年度実績	2024年度実績	中計KPI	参照ページ
役務取引等収益	47億円	48億円	55億円	P20
事業者支援件数※1	104件	50件	150件	--
事業承継支援取組件数※2	163件	131件	300件	P23
人材紹介業務成約件数	33件	30件	100件	P23
相続・贈与等にかかる 信託商品取り扱い件数	389件	156件	500件	--

※1 事業者支援件数：資本性劣後ローン実行件数、事業性評価ローン実行件数、DDS実行件数、  
審査第一部支援先数および早期改善計画策定支援件数の合計

※2 事業承継支援取組件数：事業承継コンサルティング実行件数、M&A実行件数および事業承継・引継ぎ支援センター持ち込み件数の合計

グループ総合力	2023年度実績	2024年度実績	中計KPI	参照ページ
子会社利益※3	576百万円	▲9% (522百万円)	15%以上 (2023年度比)	P29

※3 子会社利益：ひめぎんグループ連結子会社の当期純利益の合計

生産性向上 (DX)	2023年度実績	2024年度実績	中計KPI	参照ページ
顧客DXサポート件数※4	292件	617件	600件	P23
API活用率※5	49.5%	53.2%	60%以上	P30

※4 顧客DXサポート件数：デジタルツールに関する顧客紹介業務の同意書取得件数（3年累計）

※5 窓口、ATM、インターネットバンキング、アプリ等による銀行取引のうち、APIを経由した取引の比率（単月実績）

ガバナンス	2023年度実績	2024年度実績	中計KPI	参照ページ
配当性向	27.7%	25.4%	30%以上	P13
政策保有株式	132億円	▲2.1%	▲10%以上 (2023年度比)	P31

地域共創	2023年度実績	2024年度実績	中計KPI	参照ページ
ESG投融资実行額 (取扱開始からの累計)	287億円	557億円	900億円	P31
GHG排出量削減	57.8%	▲62.6%	50%以上	P31

人的資本経営	2023年度実績	2024年度実績	中計KPI	参照ページ
女性管理職比率	12.3%	14%	15%以上	P34
女性主任比率※6	43.7%	51%	50%程度	P34
女性平均勤続年数	12.5年	12.6年	13.5年	P34
男女間賃金差異※7	47.7%	50%	50%以上	P34
中途採用在籍者	49名	45名	70名	--

※6 主任のうち女性が占める比率

※7 正規・非正規も含めた全従業員の差異として、女性の平均年間賃金÷男性の平均年間賃金×100%にて算出

本資料は、決算の概要や経営方針等のご案内を目的としたもので、  
当行が発行する有価証券の投資勧誘あるいは取引の推奨を目的  
とするものではありません。

将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化などによって  
異なる可能性があることにご留意ください。

### お問い合わせ先

## 愛媛銀行 企画広報部

TEL089-933-1111      FAX089-933-1027

e-mail kouhou@himegin.co.jp

ホームページアドレス <https://www.himegin.co.jp/>